

MUKAWA

むかわ町
スポーツ施設長寿命化計画

令和4（2022）年12月策定

目次

第1章 計画の概要

1. 計画の目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	2
4. 将来の人口予測（むかわ町公共施設等総合管理計画より）	2
5. 対象施設	3
6. スポーツ施設の関連経費	4
7. 進行管理	5

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況	6
2. 施設の劣化状況等	7

第3章 管理整備の方針

1. むかわ町公共施設等総合管理計画における基本の方針	8
2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方	8
3. 長寿命化の基本方針	9
4. 今後の整備方針	10
5. 施設方針適用後の財政効果	13
6. 計画の継続的運用方針	15

※本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

第1章 計画の概要

1. 計画の目的

全国の自治体では、過去に建設された公共施設等がこれから大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることが懸念され、人口減少により公共施設等の需要が変化することが想定されています。

そこで、総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう、通知が発出されました。

むかわ町は、旧鶴川町と旧穂別町が合併して誕生したまちであり、旧町はそれぞれ、高度成長期以降、人口増加を前提としたまちづくりを進めてきました。

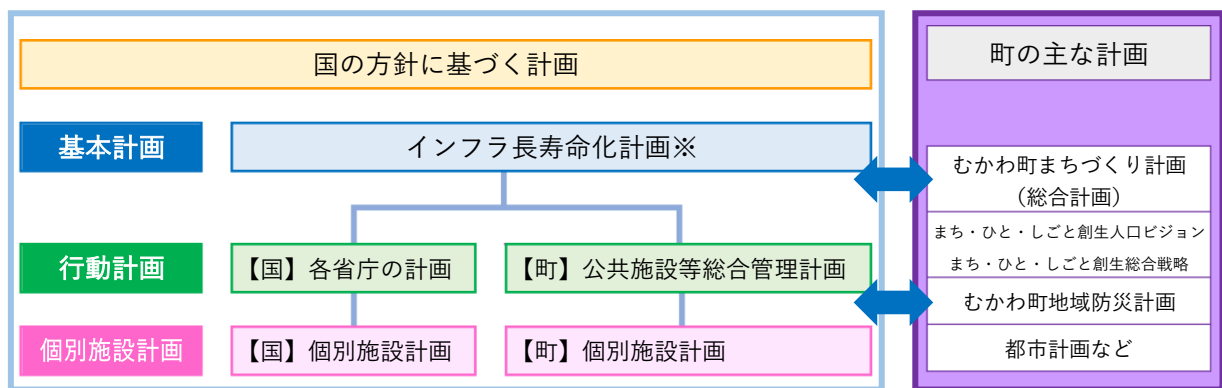
人口増加に伴い拡大する行政需要に対応するための施設整備を進めてきましたが、近年では、施設整備当時より大幅な人口減少となっています。

これらの課題を解決するためには、町の公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図らなくてはなりません。

そこで、町の公共施設等の計画的な管理及び最適な配置に関する基本的な方針を定めるため、平成29（2017）年に「むかわ町公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」）を策定しました。

今回策定した「むかわ町スポーツ施設計画」（以下「本計画」）は、総合管理計画で示した基本方針を具現化するため、個別施設ごとに老朽化の状態や今後の方向性、方向性に伴う事業費などについてまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

2. 計画の位置づけ



3. 計画期間

本計画は、令和 4（2022）年度から令和 23（2041）年度までの 20 年間とし、以降、継続的な更新を行います。

なお、計画期間内であっても必要に応じ適宜見直すものとします。

4. 将来の人口予測（むかわ町公共施設等総合管理計画より）

社人研の推計によると、令和 42（2060）年の本町の人口は、1,987 人まで減少する見通しとなっています。

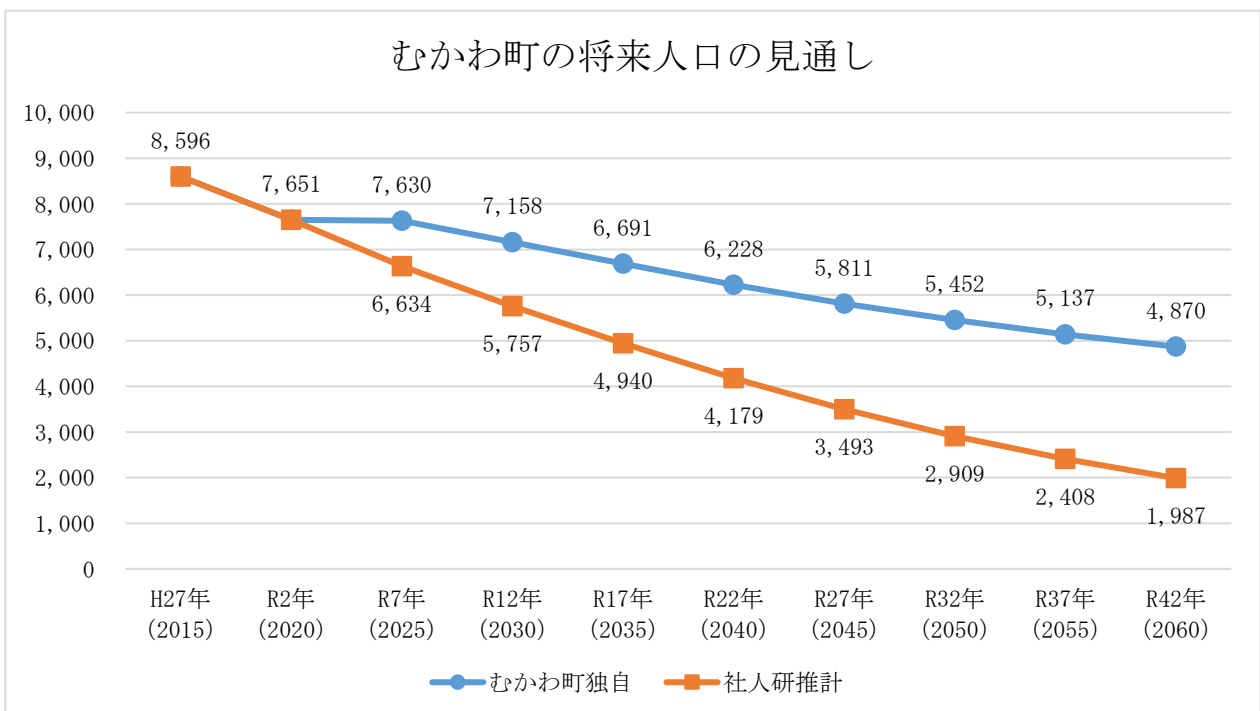
一方、本町独自推計の見通しでは、むかわ町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策による効果が着実に反映され、合計特殊出生率と純移動率が仮定値のとおり改善されれば、令和 42（2060）年の人口は 4,870 人となり、社人研推計と比較して 2,883 人の施策効果が見込まれます。

●合計特殊出生率

現状の合計特殊出生率 1.55 から、人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の 2.1）まで上昇させることを目指しています。

●純移動率（社会移動）

むかわ町における住宅の整備などの雇用環境の創出による転出者数を抑制し、さらに恐竜ワールド構想もよる魅力あるまちづくり、子育てしやすい環境づくりなどを行い、まちの魅力を高めることで、転出超過となっている社会移動が社人研推計値の 1 割程度まで均衡することを目指しています。



※R2（2020）年までは国勢調査の実績値
 出典：むかわ町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン<改訂版>（一部加工）

5. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

鶴川町民体育館、鶴川運動公園パークゴルフ場及び穂別スポーツセンターは防災計画などで避難所・避難場所に指定されています。また、避難所に指定されている鶴川町民体育館は平成 26（2014）年に、穂別スポーツセンターは平成 25（2013）年にそれぞれ耐震補強を行っています。

施設名	所在地	建築年度	延床面積（㎡）	耐震補強	主体構造	防災計画
ゲートボール場	鶴川市街地	H3 (1991)	1,242.00	不要	S 造	-
鶴川スケートセンター	鶴川市街地	H6 (1994)	302.00	不要	プレハブ 軽量 S 造	-
鶴川町民体育館	鶴川市街地	S48 (1973)	2,266.00	2014 年 耐震補強済み	RC 造	避難所
鶴川運動公園パーク ゴルフ場	田浦	H12 (2000)	129.00	不要	W 造	一時避難場所
田浦野球場 管理棟・ ベンチ棟	田浦	S60 (1985)	154.00	不要	RC 造	-
田浦第 2 野球場 トイレ	田浦	H18 (2006)	23.33	不要	RC 造	-
穂別スポーツセンター	穂別市街地	S54 (1979)	2,367.25	2013 年 耐震補強済み	RC 造	避難所、 一時避難場所
穂別スポーツセンター テニスコート	穂別市街地	S54 (1979)	0.00	不要	-	-
穂別スキー場	穂別市街地	S43 (1968)	61.85	不要	W 造	-
穂別水泳プール	穂別市街地	S40 (1965)	105.30	不要	W 造	-
穂別ふれあいパーク ゴルフ場 トイレ	穂別市街地	H7 (1995)	16.26	不要	W 造	-
穂別野球場 管理棟	穂別市街地	S52 (1977)	17.00	不要	RC 造	-
穂別野球場 ベンチ (一塁側)	穂別市街地	S52 (1977)	28.00	不要	RC 造	-
穂別野球場 ベンチ (三塁側)	穂別市街地	S52 (1977)	28.00	不要	RC 造	-
穂別スケートリンク	穂別市街地	S60 (1985)	0.00	不要	-	-
鶴川テニスコート	鶴川市街地	H28 (2016)	0.00	不要	-	-

6. スポーツ施設の関連経費

平成30（2018）年度から令和2（2020）年度の3年間における施設関連経費は、3年間の平均で174,106千円です。

3年間の平均年間維持管理コストが高い順では、鶴川町民体育館、鶴川テニスコート、穂別水泳プールとなります。

工事請負費の3年間の平均は、鶴川町民体育館で52,543千円、鶴川テニスコートで19,305千円となり、修繕費の3年間の平均は、鶴川スケートセンターで3,191千円、田浦野球場 管理棟・ベンチ棟で1,978千円となります。

単位（千円）

施設名	人件費	需用費	役務費	委託料	使用料 ・ 借上料	工事請 負費	備品購 入費	修繕費	年間維 持管理 コスト
ゲートボール場	-	718	32	4,662	47	1,577	-	141	7,177
鶴川スケートセンター	-	1,604	52	5,721	351	568	-	3,191	11,487
鶴川町民体育館	1,213	1,341	68	12,027	70	52,543	382	687	68,332
鶴川運動公園パーク ゴルフ場	-	211	80	11,255	22	5,793	-	271	17,631
田浦野球場 管理棟・ ベンチ棟	-	1,526	84	1,513	32	-	133	1,978	5,266
田浦第2野球場 トイレ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穂別スポーツセンター	-	3,634	56	8,014	504	6,002	-	602	18,813
穂別スポーツセンター テニスコート	-	-	-	-	591	-	-	-	591
穂別スキー場	-	414	9	2,223	10	-	-	50	2,705
穂別水泳プール	-	860	69	2,934	19	8,832	23	342	13,079
穂別ふれあいパーク ゴルフ場 トイレ	-	354	44	5,996	476	-	-	58	6,928
穂別野球場 管理棟	-	119	-	95	-	-	-	24	239
穂別野球場 ベンチ (一塁側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穂別野球場 ベンチ (三塁側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穂別スケートリンク	-	414	6	2,000	10	-	-	45	2,476
鶴川テニスコート	-	77	-	-	-	19,305	-	-	19,382
合 計	1,213	11,273	500	56,440	2,132	94,620	539	7,388	174,106

7. 進行管理

①実施計画の作成

- ・施設所管課は、今後 10 年間で実施しようとする改修・修繕等の内容について実施計画を作成し、予算編成担当課と協議します。
- ・施設所管課は、実施計画全体の中から、必要に応じて管財担当課と協議の上、実施する改修・修繕等の内容について精査し、当該年度の予算要求について決定します。

②改修・修繕等の実施

- ・実施計画及び当該年度の予算に基づき、施設所管課は工事に関する発注や計画の事務を行い、改修・修繕等を実施します。必要に応じて管財担当課に支援を仰ぎ、工事の施工管理を行います。

③改修・修繕等の内容の記録、評価

- ・竣工後は、竣工検査を行い、施行内容について評価を行います。
- ・改修・修繕等の内容は施設管理台帳に記録し、個別施設計画の見直しの際に反映させます。

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況

平成30(2018)年度から令和2(2020)年度の3年間における施設利用者数は、以下のとおりです。

3年間の平均施設利用者数が多い順では、鶴川スケートセンター、鶴川町民体育館、鶴川運動公園パークゴルフ場となります。

単位(人)

施設名	H30(2018) 年度	R1(2019) 年度	R2(2020) 年度	3年平均
ゲートボール場	1,755	2,009	2,135	1,966
鶴川スケートセンター	15,365	13,334	4,520	11,073
鶴川町民体育館	8,979	0	14,482	7,820
鶴川運動公園パークゴルフ場	6,466	8,454	7,048	7,323
田浦野球場 管理棟・ベンチ棟	3,920	3,973	3,842	3,912
田浦第2野球場 トイレ	2,076	0	554	877
穂別スポーツセンター	2,843	1,764	3,496	2,701
穂別スポーツセンター テニスコート	-	-	-	-
穂別スキー場	960	542	665	722
穂別水泳プール	1,541	0	1,289	943
穂別ふれあいパークゴルフ場 トイレ	3,484	3,525	3,675	3,561
穂別野球場 管理棟	256	200	36	164
穂別野球場 ベンチ(一塁側)	-	-	-	-
穂別野球場 ベンチ(三塁側)	-	-	-	-
穂別スケートリンク	-	-	-	-
鶴川テニスコート	382	298	367	349

2. 施設の劣化状況等

スポーツ施設は、施設総数 16 施設、総延床面積が 6,739.99 m²となっています。これらの施設は直営で管理運営しています。

スポーツ施設は、地域住民の体力向上と健康増進を図る施設として、スポーツ教室や大会等で幅広く利用されており、非常に利用需要が高い施設です。しかし、スポーツ施設の半数が建設後 40 年以上を経過していることから、老朽化による建物や設備の損傷・劣化が生じています。利用状況等を考慮しながら優先順位を決定し、改修、修繕等を行っていく必要があります。

●劣化度状況

A：特に措置を要しない

C：広範囲に劣化がみられる

B：軽微な対応を要するまたは引き続き観察を続ける

D：補修改善を要する

施設名	耐用年数	経過年数	老朽化率 (%)	劣化状況				劣化状況等
				躯体	屋根	外壁	内壁	
ゲートボール場	50	30	60.0	B	B	B	B	施設の外部に一部不具合箇所がみられる。
鶴川スケートセンター	30	27	90.0	B	B	B	B	施設の内外部に数か所不具合箇所がみられる。
鶴川町民体育館	60	48	80.0	C	B	C	C	2014 年に耐震補強済みであるが、施設整備後 48 年を経過しているため、施設の内外部に不具合箇所がみられ、老朽化対策が必要な状況である。
鶴川運動公園パークゴルフ場	40	21	52.5	B	B	B	B	施設の外部に一部不具合箇所がみられる。
田浦野球場 管理棟・ベンチ棟	60	36	60.0	B	B	B	B	施設の外部に一部不具合箇所がみられる。
田浦第 2 野球場 トイレ	60	15	25.0	A	A	A	A	目立った劣化などはみられない。
穂別スポーツセンター	60	42	70.0	C	C	C	C	2013 年に耐震補強済みであるが、施設整備後 42 年を経過しているため、施設の内外部に不具合箇所がみられ、老朽化対策が必要な状況である。
穂別スポーツセンター テニスコート	40	42	105.0					
穂別スキー場	40	53	132.5	C	C	C	C	施設の外部に不具合箇所がみられる。
穂別水泳プール	40	56	140.0	C	C	C	C	施設の外部に不具合箇所がみられる。
穂別ふれあいパークゴルフ場 トイレ	40	26	65.0					
穂別野球場 管理棟	60	44	73.3	C	C	C	C	施設の外部に不具合箇所がみられる。
穂別野球場 ベンチ (一塁側)	60	44	73.3					
穂別野球場 ベンチ (三塁側)	60	44	73.3					
穂別スケートリンク	40	36	90.0					
鶴川テニスコート	40	5	12.5					

※老朽化率 = 経過年数 ÷ 構造耐用年数 × 100 (令和 3 (2021) 年 4 月 1 日時点)

第3章 管理整備の方針

1. むかわ町公共施設等総合管理計画における基本的方針

むかわ町公共施設等総合管理計画では、スポーツ施設の基本的な方針として下記のようにまとめており、本計画においてもむかわ町公共施設等総合管理計画の方針に準じていきます。

①施設保有量の最適化

今後の更なる人口減少や厳しい財政制約が予想されるなか、現在の保有量のままでは施設の更新費用を支出することが困難な状況が生じると予想されます。

将来にわたり持続的に公共サービスを提供するためには、現在の公共施設の総量を削減し、公共施設の保有量を最適化していく必要があります。

②適切な維持管理の推進

公共施設の更新・改修・維持管理などの費用削減のためには、施設総量の削減だけでなく、適切な維持管理が必要です。「壊れてから修理するのではなく、壊れないように小まめに手入れする」ことで、長期的な費用削減が期待できます。

施設の劣化状況を定期的に点検し、適切に補修・改修することで、既存公共施設を長く・大事に使っていきます。

③民間等との連携・協働

町の職員や財源などの行政資源には限りがあることから、町のみで公共施設の対策に当たるのではなく、関係する地域住民や企業、周辺自治体、関係行政機関などと協力・連携して対策を進めていくこととします。

④ユニバーサルデザイン化の推進

公共施設等の長寿命化や、更新、改修の際は、施設の機能や目的、利用状況などを考慮しながら、ユニバーサルデザインの視点を持って多様な人々が施設を利用しやすい環境を整えていきます。

⑤脱炭素化の推進

公共施設等の長寿命化や、更新、改修の際は、省エネ・再エネ・蓄エネ設備の導入促進など脱炭素化に向けた取組を推進していきます。

●スポーツ施設の方針

現有施設の維持補修と長寿命化を短期的な基本方針としながら、施設管理に民間活力の導入などを検討します。また、長期的には、新しい整備を控えながらも、サービスに大きな地域格差を生じさせないことを前提にし、近隣市町の施設との連携を含めた施設配置を図ります。

●スポーツ施設の計画進行管理のポイント

- ・既存施設の長寿命化工事による耐用年数の延長
- ・穂別地区の義務教育学校施設改修の考え方と連動した運動施設の複合化

2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方

耐用年数が経過し、老朽化率が高い施設を基本とし、施設の稼働率が高く、施設利用者が多い等、町民に対する影響度がより大きい施設から順に改修・修繕等を行うこととします。整備する対象の選定にあたっては、利用者の安全安心を確保するため、施設（建物・設備）の損傷・劣化等に対する修繕（又は改修）を第一優先とし、次に利用者に対する利便性の確保等とします。

3. 長寿命化の基本方針

公共施設等の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は、施設の計画的な保全を実施するために設定するもので、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考とし、構造別に以下のとおり設定します。

考慮する点として、本町は雪国であり、想定していたよりも施設の劣化が進み、目標とした使用年数まで使用できないことが考えられます。また、地域の防災拠点としている施設については劣化状況によっては優先的に建替えが必要になることも考えられます。

多面的に施設の状況を踏まえたうえで、できるだけ長く施設を活用できるよう努めていきます。

■ 目標使用年数

構 造	耐用年数	
	代表値	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造	60年	80年
木造・木造モルタル等・その他	40年	50年

■ 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質の 場合	普通の 品質の場合	重量鉄骨		軽量 鉄骨		
			高品質の 場合	普通の品質 の場合			
学校・官庁	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo60 以上
住宅・事務所 ・病院	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo40 以上
店舗・旅館 ・ホテル	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo100 以上	Yo60 以上	Yo40 以上	Yo60 以上	Yo40 以上
工場	Yo40 以上	Yo25 以上	Yo40 以上	Yo25 以上	Yo25 以上	Yo25 以上	Yo25 以上

※Yo：目標耐用年数の級を表す記号

■ 目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数		
	代表値	範 囲	下限値
Yo150 以上	150年	120 ～ 200年	120年
Yo100 以上	100年	80 ～ 100年	80年
Yo60 以上	60年	50 ～ 80年	50年
Yo40 以上	40年	30 ～ 50年	30年
Yo25 以上	25年	20 ～ 30年	20年

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

4. 今後の整備方針

(1) 施設の具体的な方向性・対策

計画には、それぞれの対策（更新・長寿命化・廃止等）及び修繕予定等（判明及び検討している場合）を記載しています。

施設名	方針区分	今後 10 年間のスケジュール（年度）									
	方向性	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)
ゲートボール場	決定					維持					
	長寿命化					外壁修繕					
鶴川スケートセンター	決定					維持					
	長寿命化					全体改修					
鶴川町民体育館	決定					維持					
	長寿命化					設備・建具等改修					
鶴川運動公園パークゴルフ場	決定					維持					
	長寿命化					全体改修					
田浦野球場管理棟・ベンチ棟	決定			維持							
	長寿命化			照明関連等改修							
田浦第 2 野球場トイレ	決定										
	長寿命化										
穂別スポーツセンター	着手		着手	方針決定							
	長寿命化										
穂別スポーツセンターテニスコート	着手		着手	方針決定							
	長寿命化										
穂別スキー場	決定					維持					
	長寿命化					ロープ張り替え予定					
穂別水泳プール	決定	維持									
	長寿命化	鉄骨塗装									
穂別ふれあいパークゴルフ場 トイレ	決定				維持						
	長寿命化				維持補修						
穂別野球場 管理棟	着手		着手	方針決定							
	長寿命化										
穂別野球場ベンチ（一塁側）	着手		着手	方針決定							
	長寿命化										
穂別野球場ベンチ（三塁側）	着手		着手	方針決定							
	長寿命化										
穂別スケートリンク	決定	着手	方針決定								
	長寿命化										
鶴川テニスコート	決定										
	長寿命化										

* 方針区分（決定）：施設の方向性が決定している、または決定に向けて協議

* 方針区分（着手）：施設の方向性が決定しておらず、計画期間内において着手していく

(2) 再取得・長寿命化コストの試算

再取得・長寿命化コストの試算については、総務省の公共施設等更新費用試算ソフトを参考に、以下の算定基準により算出しています。

また、取得年度と耐用年数により、単純更新年度を明記しています。

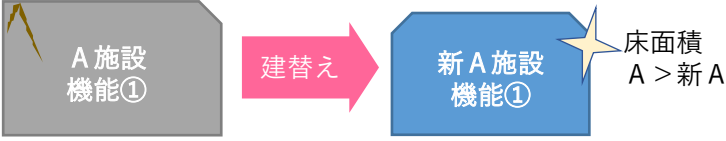


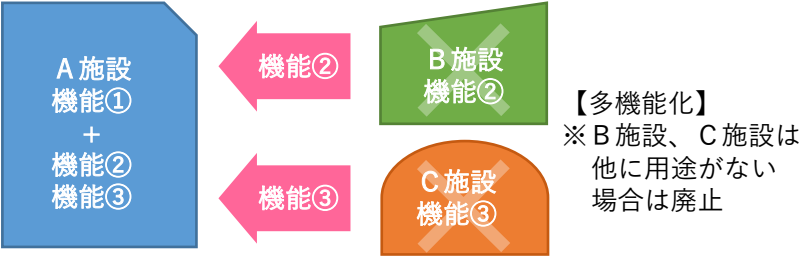



目標使用年数まで使用するためには、中間年度に長寿命化に向けた改修工事を実施し、できるだけ施設の長寿命化を図っていきます。

更新（建替え）	長寿命化
40万円/㎡	25万円/㎡

施設名	延床面積 (㎡)	取得 年度	耐用 年数	単純更新 年度	方向性	目標使 用年数	再取得価額 (千円)	長寿命化 費用 (千円)
ゲートボール場	1,242.00	H3 (1991)	50	R23 (2041)	長寿 命化	80	496,800	310,500
鷓川スケートセンター	302.00	H6 (1994)	30	R6 (2024)	長寿 命化	50	120,800	75,500
鷓川町民体育館	2,266.00	S48 (1973)	60	R15 (2033)	長寿 命化	80	906,400	566,500
鷓川運動公園パークゴルフ場	129.00	H12 (2000)	40	R22 (2040)	長寿 命化	50	51,600	32,250
田浦野球場 管理棟・ベンチ棟	154.00	S60 (1985)	60	R27 (2045)	長寿 命化	80	61,600	38,500
田浦第2野球場 トイレ	23.33	H18 (2006)	60	R48 (2066)	長寿 命化	80	9,332	5,833
穂別スポーツセンター	2,367.25	S54 (1979)	60	R21 (2039)	長寿 命化	80	946,900	591,813
穂別スキー場	61.85	S43 (1968)	40	H20 (2008)	長寿 命化	50	24,740	15,463
穂別水泳プール	105.30	S40 (1965)	40	H17 (2005)	長寿 命化	50	42,120	26,325
穂別ふれあいパークゴルフ場 トイレ	16.26	H7 (1995)	40	R17 (2035)	長寿 命化	50	6,504	4,065
穂別野球場 管理棟	17.00	S52 (1977)	60	R19 (2037)	長寿 命化	80	6,800	4,250
穂別野球場 ベンチ（一塁側）	28.00	S52 (1977)	60	R19 (2037)	長寿 命化	80	11,200	7,000
穂別野球場 ベンチ（三塁側）	28.00	S52 (1977)	60	R19 (2037)	長寿 命化	80	11,200	7,000

※穂別スポーツセンターテニスコート、穂別スケートリンク及び鷓川テニスコートは延床面積がないため再取得・長寿命化コストの試算から除外しています。

■施設の方向性等の説明

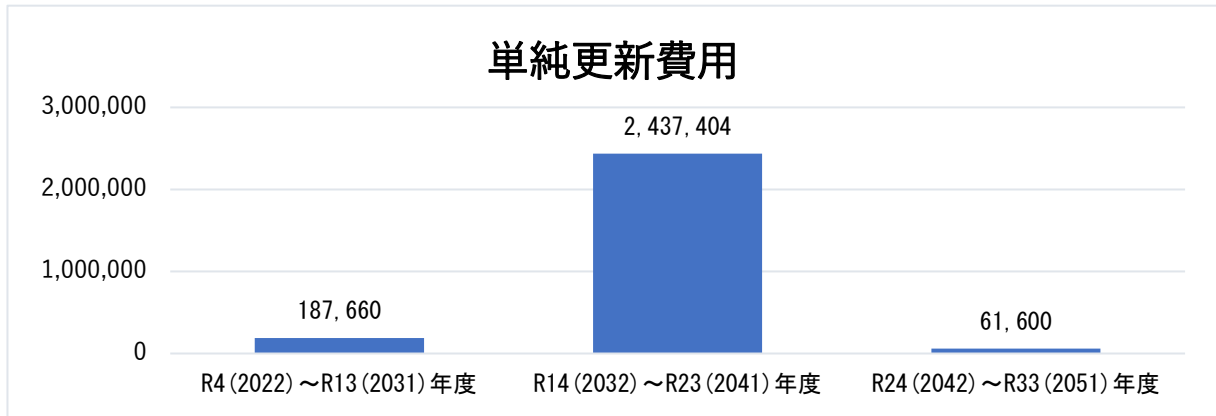
取組方法	取組のイメージ
<p>①更新 老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。</p>	 <p>床面積 $A < \text{新}A$</p>
<p>②長寿命化 耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。</p>	 <p>A 施設 耐用年数 50 年 → A 施設 50 年+α</p>
<p>③複合化・多機能化 一つの施設の異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する方法がある。 施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小することを原則としている。</p>	 <p>床面積 $A+B+C > D$</p> <p>【複合化】 ※ A 施設、B 施設、C 施設は他に用途がない場合は廃止</p>
	 <p>【多機能化】 ※ B 施設、C 施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>④統廃合 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。</p>	 <p>※余剰 B 施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>⑤用途変更 機能を廃止し、新たな機能を保有させること。</p>	 <p>A 施設 機能① → A 施設 機能②</p>
<p>⑥譲渡 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。</p>	 <p>公共 A 施設 → 民間 A 施設</p>

5. 施設方針適用後の財政効果

各施設を単純に耐用年数で更新した場合と本計画の方針である長寿命化等を実施した場合を比較すると、今後 30 年間の財政効果は以下のとおりとなります。

単純に耐用年数で更新した場合には、今後 30 年間で 2,686,664 千円の費用がかかると試算されます。

単位（千円）



単位（千円）

	R4(2022)～ R13(2031) 年度	R14(2032)～ R23(2041) 年度	R24(2042)～ R33(2051) 年度	合計
ゲートボール場	0	496,800	0	496,800
鷓川スケートセンター	120,800	0	0	120,800
鷓川町民体育館	0	906,400	0	906,400
鷓川運動公園パークゴルフ場	0	51,600	0	51,600
田浦野球場 管理棟・ベンチ棟	0	0	61,600	61,600
田浦第 2 野球場 トイレ	0	0	0	0
穂別スポーツセンター	0	946,900	0	946,900
穂別スキー場	24,740	0	0	24,740
穂別水泳プール	42,120	0	0	42,120
穂別ふれあいパークゴルフ場トイレ	0	6,504	0	6,504
穂別野球場 管理棟	0	6,800	0	6,800
穂別野球場 ベンチ（一塁側）	0	11,200	0	11,200
穂別野球場 ベンチ（三塁側）	0	11,200	0	11,200
合計	187,660	2,437,404	61,600	2,686,664

※田浦第 2 野球場トイレは令和 48（2066）年に更新時期を迎えるため、今後 30 年間の費用が計上されていない。

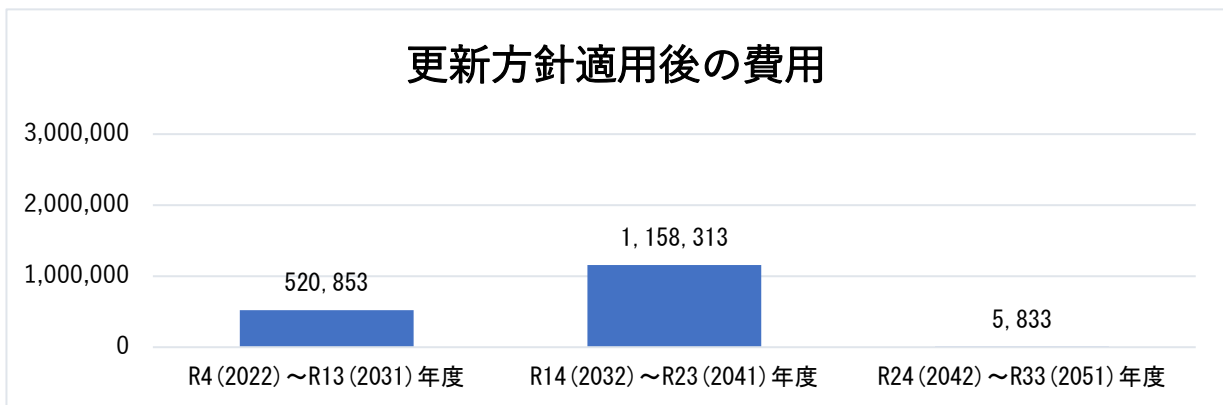
更新方針適用後の費用については、目標使用年数の中間年に長寿命化工事を行うと仮定し費用を算出しています。

既に目標使用年数を経過している穂別スキー場及び穂別水泳プール、中間年を経過している施設については、施設の安全性に配慮しつつ、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度の間長寿命化を図る試算としています。また、鶴川町民体育館、穂別スポーツセンターは過去に耐震補強を行っているため長寿命化工事までの期間を20年延長して計算しています。

施設の更新方針を適用することで、今後30年間にかかる費用は1,684,998千円となり、約1,001,667千円削減することができます。

また、施設更新等については可能な限り、改修費用等の平準化を図り、施設更新時には町の人口変動や財政状況などを考慮し、減築なども視野に入れて削減に努めていきます。

単位（千円）



単位（千円）

	R4(2022)～ R13(2031) 年度	R14(2032)～ R23(2041) 年度	R24(2042)～ R33(2051) 年度	合計	増減額
ゲートボール場	310,500	0	0	310,500	▲186,300
鶴川スケートセンター	75,500	0	0	75,500	▲45,300
鶴川町民体育館	0	566,500	0	566,500	▲339,900
鶴川運動公園パークゴルフ場	32,250	0	0	32,250	▲19,350
田浦野球場 管理棟・ベンチ棟	38,500	0	0	38,500	▲23,100
田浦第2野球場 トイレ	0	0	5,833	5,833	5,833
穂別スポーツセンター	0	591,813	0	591,813	▲355,088
穂別スキー場	15,463	0	0	15,463	▲9,278
穂別水泳プール	26,325	0	0	26,325	▲15,795
穂別ふれあいパークゴルフ場 トイレ	4,065	0	0	4,065	▲2,439
穂別野球場 管理棟	4,250	0	0	4,250	▲2,550
穂別野球場 ベンチ(一塁側)	7,000	0	0	7,000	▲4,200
穂別野球場 ベンチ(三塁側)	7,000	0	0	7,000	▲4,200
合計	520,853	1,158,313	5,833	1,684,998	▲1,001,667

6. 計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

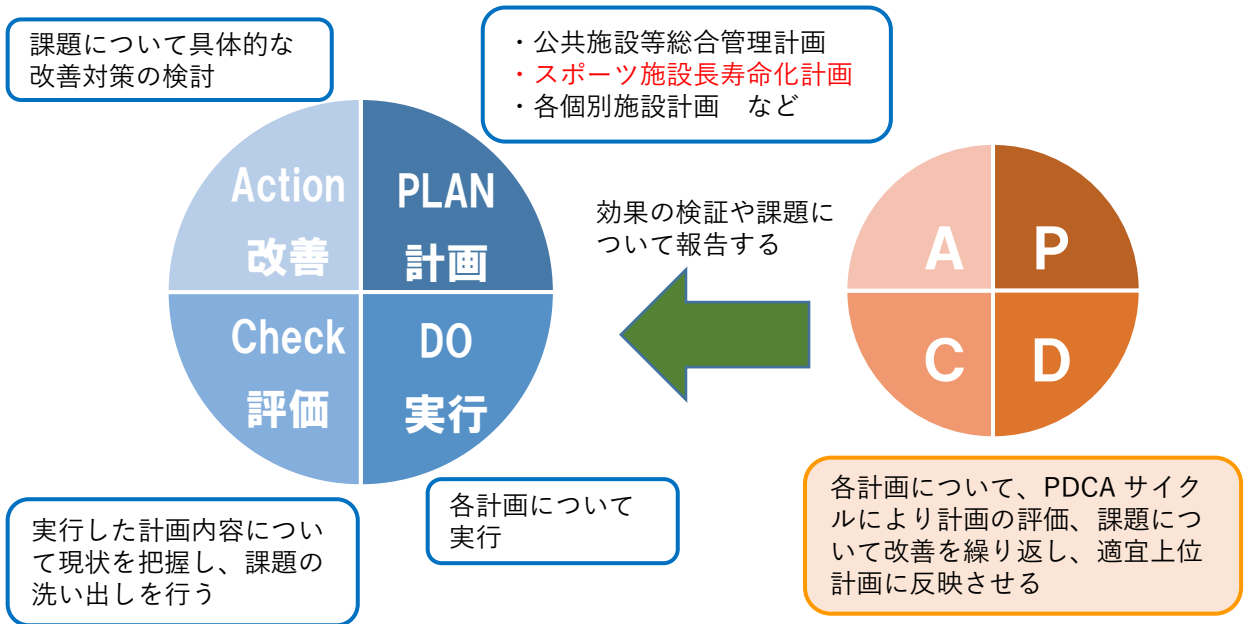
上位計画である総合管理計画との連携を図りながら、スポーツ施設だけではなく、全庁的な取組として固定資産台帳を基とした情報一元化・共有化を図ります。その中で、施設の利用状況や維持管理経費等を把握し、本計画推進の情報基盤として整備、活用します。

(2) 推進体制等の整備

本計画の対象となるスポーツ施設は、避難所や一時避難場所に指定されている施設もあります。このような重要度の高さからも、従前まで行われてきた対処療法的な「事後保全」から、施設の劣化が大きくなる前に計画的に行う「予防保全」への転換を図り、施設の機能を常に良好な状態に保つことが重要です。そこで、スポーツ施設の所管課である生涯学習課及び教育振興室を中心に、全庁的な体制を構築します。また、公共施設の在り方を検討する際には、町ホームページを活用した情報発信など、町民からの意見・要望を取り入れながら、公共施設マネジメントを推進します。

(3) フォローアップ

本計画は、上位計画であるむかわ町公共施設等総合管理計画と連携を図りながらも、町全体の予算とのバランスによっては、すぐに実施できない改修工事なども発生することが予測されます。よって必要な時期に必要な行動の事業化を促す仕組みを構築するため、PDCA のマネジメントサイクルに沿った進捗管理を行います。



むかわ町 スポーツ施設長寿命化計画

令和4（2022）年12月作成

〒054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地

【むかわ町教育委員会】

TEL 0145-42-2487

FAX 0145-42-4994